

芳名録の掲載について

※大正8年から昭和22年(芳名録第30巻)まで、本館創立以来約50年間分の記名者を記載する

※記帳事項は芳名録に記録されたもので、名刺や文章、絵、歌などの状況も記す

ただし著作権に関わるような形態の絵や歌、住所が特定できる番地などは掲載しない

※備考は本館で調査した加筆事項で、図書や新聞、インターネットの情報による

※文字が不明な場合は＝で表記する

芳名録巻	来館日			氏名	記帳事項	備考 職名など本館調査によるもの
	年	月	日			
S7	1932	10	21	斎藤 壽雄	群馬県北甘楽郡富岡町 八拾六歳	医師 群馬県会議員 衆議院議員 富岡女学校、甘楽キリスト教会設立
S7	1932	10	21	赤澤 多喜	佐賀県聖和高等女学校 教員	
S7	1932	10	21	村岡 静子	教員	同行
S7	1932	10	21	平石 スミ	補習科 外二十名	同行
S7	1932	10	22	島藺 順次郎		内科医 京都帝国大学教授 東京帝国大学医学部第一内科学講座教授 ベルリン大学 東京帝国大学医学部附属医院長 脚気とビタミンB1の研究
S7	1932	10	22	島藺 津祢		同行
S7	1932	10	24	野口 正十郎	高知県高知市大川筋 教員	
S7	1932	10	24	赤池 濃		内務官僚 静岡県知事 朝鮮総督府警務部長 内閣拓務局長官 警視總監 貴族院議員
S7	1932	10	24	景浦 尚視	長崎医科大学教授	医学部長
S7	1932	10	21	田島 尚三	早稲田大学学生	
S7	1932	10	31	平野 久保	商工技師	商工省工務局 日本写真感光材料統制株式会社社長 歌人 号:万里「明星」メンバー 「冬柏」編集主任 五足の靴のメンバー
S7	1932	10	31	荘原 和作	三池染料	同行 三池染料工業所長 三井化学工業株式会社社長 東洋高压工業社長
S7	1932	10	31	三浦 文雄	旭川市日新尋常小学校 教員	
S7	1932	11	4	川田 順	兵庫県＝＝町	歌人 実業家 住友総本社常務理事 佐佐木信綱門下 明仁親王の作歌指導
S7	1932	11	10	吉田 三代治	市外茂木小学校 教員 児童三六名	
S7	1932	11	12	平瀬 栄男	鹿児島県伊佐郡田代尋常高等小学校長 外九名	
S7	1932	11	16	Craine E =uck		ホノルル
S7	1932	11	17	豊田 臻	姫路高等学校教授	松江高等学校校長
S7	1932	11	23	吉田 弥之助	小樽高等実修商科学校	
S7	1932	11	24	市村 與市	名古屋金城女子専門学校長	第2代理事長
S7	1932	11	26	阿部 芳雄	山形県師範学校附属小学校訓導	
S7	1932	11	26	泉 眞仲		同行
S7	1932	11	26	古川 良雄	福岡県遠賀農学校長	糸島農学校長
S7	1932	12	5	田村 於菟	岡山医科大学長	病理学 盛京医科大学長 哈爾濱医科大学長
S7	1932	12	8	新城 新蔵	京都帝国大学総長	天文学 宇宙物理学 上海自然科学研究所所長
S7	1932	12	8	野満 隆治	教授	同行 京都帝国大学教授 地球物理学 海洋学、温泉学 別府地球物理学研究所
S7	1932	12	8	能田 忠亮	東方文化研究員	同行 天文学 暦学 東洋天文学史
S7	1932	12	10	弓削 秀一	飽浦小学校 尋六児童参百名	
S7	1932	12	15	大司 星七	東京市豊島区長崎東町 彫刻家	山里小学校「あの子らの碑」レリーフ作者
S7	1932	12	19	後藤 顧三郎	佐世保海軍工廠	海軍軍医中佐 のち海軍軍医少将 第102病院長 第11空敵医務部長
S7	1932	12	20	柴田 桂太	東京帝国大学教授 理学博士	植物生理学 微生物学 チトクローム研究 フラボン体研究 資源科学研究所所長 薬学者 柴田承桂の長男
S7	1932	12	20	柴田 雄次	東京帝国大学教授 理学博士	同行 化学 名古屋帝国大学初代理学部長 東京都立大学初代総長 文化功労者 薬学 者柴田承桂の次男

S7	1932	12	20	片山 正夫	東京帝国大学教授 理学博士	同行 物理化学 界面化学の先駆的研究
S7	1932	12	27	有馬 寛	海軍少将	佐世保鎮守府佐世保海軍艦船部長 のち海軍中將
S7	1932	12	27	沖本 至	海軍機関大佐	同行 海軍艦政本部造船造兵監督官 のち海軍少将
S7	1932	12	27	松岡 龍雄	海軍中佐	同行 佐世保鎮守府佐世保海軍艦船部 のち海軍大佐
S8	1933	1	11	小川 義章	文部省督学官	兼東京帝国大学学生課学生主事 文部省思想局思想課長 調査課長 数学局数学官 女子学習院副院長 高山寺住職
S8	1933	1	14	Z = = Ipicellr		
S8	1933	2	6	河田 烈	移住教養所兼庁 =	拓務次官 内閣書記官長 貴族院議員 大蔵大臣 東亜海運社長 台湾拓殖社長 大成火災海上保険社長
S8	1933	2	6	後藤 三郎	長崎県女子師範学校長	愛知第二、静岡、岡崎師範学校長
S8	1933	2	13	小谷 淡雲	在バタヴィア帝国総領事館 副領事	日本心霊科学協会評議委員
S8	1933	2	13	山下 = 武郎	亀岳小学校 外五十名	
S8	1933	2	17	松岡 忠一	宮崎高等農林学校長	宇都宮、東京、盛岡高等農林学校長
S8	1933	2	17	田中 富太郎	長崎県農事試験場長	同行
S8	1933	2	21	J.Hackin		= Joseph Hackin フランスの考古学者 アフガニスタンなどでシルクロード調査
S8	1933	2	22	濱田 繁	佐世保海軍工廠会計部海軍 = 員	
S8	1933	3	5	吉田 政雄	富山県商工課長	内務部 厚生省失業対策部総務課長 職業局転職課長
S8	1933	3	6	小池 泉	釜山税関長	咸鏡北道地方課長 黄海道財務課長
S8	1933	3	10	有高 巖	東京高師教授	東京文理科大学教授 東洋史 世界史教科書編集
S8	1933	3	14	岡部 珪蔵	活水女子専門学校 外学生貳拾壹名	第4、6代校長 第七高等学校造士館教授
S8	1933	3	15	山田 義見	熊本税務監督局直税部長	印刷局長 大蔵次官 日本勸業銀行会長 会計検査院長 日本証券保有組合理事長
S8	1933	3	15	北井 幾夫	大分税務署長	同行
S8	1933	3	15	木原 定行	広島高師文科第一部	
S8	1933	3	23	文倉 平次郎		歴史家 咸臨丸関係の研究
S8	1933	3	30	芳沢 謙吉		貴族院勅選議員 外交官 駐仏特命全權大使 枢密顧問官 元外務大臣、駐中華民国特命全權大使 国連高等弁務官緒方貞子の祖父
S8	1933	3	30	岩城 隆徳		同行 貴族院議員 子爵 東洋女子歯科医学専門学校初代理事長
S8	1933	3	30	箸本 太吉		同行 衆議院議員石川1区 新聞記者「万朝報」経営 外務参与官
S8	1933	3	30	松本 彦次郎	東京文理科大学教授	日本文化史 鎌倉仏教史 俳人 号:金鶏城
S8	1933	3	30	辻本 直男	学生	同行 刀剣研究家 日本美術刀剣保存協会研究員 東京教育大学講師
S8	1933	3	30	飯田 一郎		同行 郷土史研究家 唐津高等女学校教頭 唐津第一、北波多、巖木中学校校長 佐賀大学講師
S8	1933	3	30	萩原 一郎		同行
S8	1933	3	30	新妻 三郎		同行
S8	1933	3	30	藤澤 敏郎		同行
S8	1933	3	30	築山 治三郎		同行 中国史 京都産業大学教授 京都府立大学名誉教授
S8	1933	3	30	笹田 得治		同行
S8	1933	3	30	小出 義雄		同行
S8	1933	3	30	菊池 政次		同行
S8	1933	3	30	赤木 志津子	青山学院女学部	同行 古代文化史 お茶の水女子大学、都留文科大学教授
S8	1933	3	30	加藤 トキワ	神奈川県女子師範学校	同行
S8	1933	3	30	石橋 健夫	長崎県立長崎高等女学校	同行 国文学 国語教育
S8	1933	4	1	岡田 和一郎	東京帝国大学名誉教授	東京帝国大学耳鼻咽喉科学初代教授 日本医師会総会副会長 昭和医学専門学校初代校長
S8	1933	4	1	田中 文男	岡山医科大学教授	同行 耳鼻咽喉科学 岡山医科大学学長 岡山県教育委員長
S8	1933	4	1	颯田 琴次	東京帝国大学講師	同行 耳鼻咽喉科学 音声学 東京帝国大学、東京芸術大学教授 国立聴力言語障害者更生指導所初代所長

S8	1933	4	1	草間 滋	北里研究所	同行 細菌学 血清学 慶應義塾大学医学部病理学教室主任教授 病理細菌学の権威
S8	1933	4	1	加藤 正	宮崎県立延岡図書館司書	
S8	1933	4	3	長与 又郎	東京帝大	病理学 伝染病研究所所長 東京帝国大学学長 癌研究所所長 日本癌学会創設 夏目漱石の主治医 長与専齋の3男 男爵
S8	1933	4	3	同 太郎		同行 又郎の長男
S8	1933	4	3	全 道夫		同行 又郎の次男
S8	1933	4	3	竹内 清	長崎医科大学	同行 病理学第1教室初代教授 附属図書館長
S8	1933	4	4	唐澤 光徳	慶大	小児科学 慶應義塾大学医学部小児科学主任教授 児童保健研究会創設
S8	1933	4	4	栗山 重信	東京帝大	同行 小児科学 東京帝国大学医学部教授 国立東京第一病院長 日本小児科学会理事 長
S8	1933	4	4	平井 金三郎	長崎医大	同行 小児科学 長崎医科大学、大阪医科大学教授 乳児の食中毒治療の研究
S8	1933	4	6	田中 秀作	彦根高等商業学校教授	地理学 大阪学芸大学教授
S8	1933	4	6	奥田 唯輔	長崎高等商業学校教授	同行 経済学 彦根高等商業学校教授 山口大学経済学部教授 山口大学図書館長
S8	1933	4	6	伏見 義夫		同行 地理学 長崎高等商業学校教授 岡山大学文学部地理学科教授
S8	1933	4	7	福田 栄次郎	大阪府立農事試験場技師	地方農林技師
S8	1933	4	7	杉山 猶之助	長崎県立農事試験場技師	同行 地方農林技師
S8	1933	4	8	大道 弘雄	大阪朝日新聞社	
S8	1933	4	8	森下 薫	台湾総督府中央研究所	警務局技師 寄生虫学 台北帝国大学、大阪帝国大学教授 大阪大学微生物病研究所部長 日本寄生虫予防会理事長
S8	1933	4	8	保野 正之	長崎医大病理教室	同行 助手 のち内科教授 原爆により死去
S8	1933	4	9	川村 麟也	新潟医大病理学研究室 外貳名	ツツガムシ、日本住血吸虫症の研究 新潟大学、慶應義塾大学教授 北里研究所部長
S8	1933	4	10	吉川 智慧丸	日本銀行	日本銀行理事 十六銀行頭取 岐阜商工会議所会頭 日銀政策委員
S8	1933	4	12	船石 晋一	満州医科大学 外貳名	眼科学 満州医科大学医院長 奉天盲人福祉協会理事
S8	1933	4	14	滝川 政次郎	中央大学教授法学博士	法制史研究 九州大学教授(「九大事件」で免官) 中央大学教授(「大化改新管見」で追放) 満州国司法部法学校、建国大学教授 極東国際軍事裁判で弁護士 国学院大学名誉教授
S8	1933	4	23	神保 敏男	播磨造船所	造船主任 技師長
S8	1933	4	24	佐々井 信太郎	大日本報徳社副社長	二宮尊徳の研究 一円融合会理事長
S8	1933	4	26	三浦 武美	外務省官補見学団 外十三名	満州国外交部外務局次長 満州国駐支公使
S8	1933	4	26	松田 太郎	特許局事務官	審査官 商工省金属局鉱政課長 商工省事務次官
S8	1933	4	30	野口 六也	東京科学博物館	菌類学 キノコ研究 農林省林業試験場 日本植物病理学会会長 日本菌学会会長 =今関六也
S8	1933	4	30	石崎 光瑤		日本画家 京都市立絵画専門学校教授 本名:石崎猪四一
S8	1933	5	14	佐伯 千尋	愛媛県師範学校校長	兵庫県明石女子師範学校校長 宮城県女子師範学校校長 宮城県第三高等女学校校長
S8	1933	5	14	富川 直正		同行
S8	1933	5	14	井上 肇治	第一潜水戦隊	海軍少将第1潜水戦隊司令官 大湊要港部司令官 海軍省艦政本部第6部長 のち海軍中将
S8	1933	5	17	楠 基道	衆議院議員	岐阜2区立憲政友会 チベット研究 仏教大学、台北高等学校教授 台中第一高級中学校校長 済美高等女学校、済美女子高等商業高校校長 香焼寺住職
S8	1933	5	17	塩田 武夫	陸軍歩兵大佐	
S8	1933	5	17	野村 了本	仏教更新社同人	同行
S8	1933	5	17	吉富 滋	福島県教育課長	内務部地方課長 高知県知事 厚生省大臣官房会計課長
S8	1933	5		肘井 重利	世界一周徒歩旅行の途次 泪 = 皇紀二五九三年皇月中央日	
S8	1933	5	21	藤 等影	合掌作禮 鹿児島県万世町 本願寺開教使	
S8	1933	5	21	今泉 源吉	東京淀橋日本神学校講師	法律家 牧師 福音同志会中央委員 キリスト教尊皇愛国運動 みくに運動創立

S8	1933	6	8	喜多村 緑郎	俳優	新派女形俳優 人間国宝 文化功労者 本名:喜多村六郎
S8	1933	6		加藤 学	熊本県立人吉高等女学校教諭 外職員生徒八十四名	熊本県立山鹿高等女学校教諭
S8	1933	6	11	玉置 豊助	三井鉱山会社技師	東洋高圧工場所長 三井窒素取締役
S8	1933	6	11	玉置 千代	大牟田市浜町	同行
S8	1933	6		藤田 トヨ	片淵町	
S8	1933	6		男沢 敬一	長崎高商生徒	
S8	1933	6		長沼 依山	埼玉浦和町	本名:長沼新平 浦和幼稚園創設 浦和町議会議員 口演童話作家
S8	1933	7	4	清水 瑞一郎	京都市左京区戸籍兵事課長	
S8	1933	7	4	河野 吉男	長崎高商教授	経済学 労働問題研究 長崎大学経済学部長 長崎大学名誉教授 活水女子大学院長
S8	1933	7	20	安本 重治	東京商工奨励館主事	地方商工主事
S8	1933	7	20	Johannes Laures		独人 上智大学 キリシタン研究
S8	1933	7	22	藤岡 通夫	東京工業大学助手	建築史 王宮・城郭研究 東京工業大学教授・名誉教授 日本工業大学教授
S8	1933	7	26	川鍋 誠一	慶應義塾福澤先生研究会会員	
S8	1933	7	26	大神 正	全	同行
S8	1933	7	26	福田 陽一	中国民報社	
S8	1933	8	8	泉井 久之助	京都帝国大学	言語学 教授 同大学名誉教授 京都産業大学教授 京都産業大学附設国際言語学学科研究所所長
S8	1933	8	9	森本 勉	文部省	普通学務局属 兼東京高等師範学校書記
S8	1933	8	11	藤村 作	東京帝国大学	国文学 近世文学研究 東洋大学学長 日本文学協会初代会長 関東女子専門学校名誉学長 二松学舎大学、大正大学教授
S8	1933	8	16	松浦 素		松浦家第40代当主
S8	1933	8	17	針山 清三	富山県会議員	参事会員
S8	1933	8	17	深井 龍太郎		同行
S8	1933	8	18	大島 三佐雄	富山県魚津町	富山県会議員
S8	1933	8	26	有富 保治	農林省耕地課	農務局技手 大規模開墾計画に関する事務に従事する臨時職員
S8	1933	9	7	太田 順治	女子学習院教授	
S8	1933	9	8	倉田 白羊		洋画家 農民美術運動家 日本農民美術研究所副所長 本名:倉田重吉 本館で絵画展(7~10日)開催のため
S8	1933	9	8	川瀬 一馬		書誌学者 文化財保護審議会専門委員 青山学院女子短大名誉教授 五島美術館理事 阪本龍門文庫理事長
S8	1933	10	6	神野 金之助		2代目 名古屋鉄道社長 名鉄百貨店創立 名古屋商工会議所会頭
S8	1933	10	23	伊藤 忠太		建築家 日本建築史学 建築進化論提唱 東方文化学院研究員 東京帝国大学工学部教授 早稲田大学教授
S8	1933	10	23	飯田 須賀斯		同行 建築家 東方文化学院研究員 東北大学工学部教授 広島工業大学建築学科教授
S8	1933	10	24	青柳 安誠	大阪女子高等医学専門学校 医学博士 他三十六名	教授 京都大学医学部外科部長 関西大学客員教授 関西電力病院長 ジャーナリスト青柳有美の子
S8	1933	10	26	山下 寅次	広島文理科大学教授 他学生六名	歴史学者 中国古代文化史 頼山陽の墨跡鑑定家
S8	1933	10	30	愛甲 文雄	佐世保海兵団 海軍大尉 他十九名	のち海軍大佐 魚雷開発 航空本部主務部員
S8	1933	11	6	松尾 武幸	九州帝国大学教授	兼温泉治療学研究所所員 温泉治療学 長湯温泉研究
S8	1933	11	7	堀越 鉄蔵	日本銀行理事	日本銀行総裁理事
S8	1933	11	7	君嶋 一郎	// 門司支店長	同行 朝鮮銀行副総裁 財団法人友邦協会会長 野球研究家
S8	1933	11	7	岩重 信寛	// 本店行員	同行
S8	1933	11	7	松田 一三	十八銀行	同行 常務取締役 頭取 長崎商工会議所会頭 第2代頭取松田源五郎の孫
S8	1933	11	7	馬田 一馬	//	長崎貯蓄銀行員から
S8	1933	12	23	飯山 春雄	海軍教授	海軍兵学校教官 歴史学
S8	1933	11	13	大野 俊彦	海軍機関大佐	佐世保鎮守府佐世保海軍工廠造機部長
S8	1933	11	13	大野 静江		同行

S8	1933	11	13	開徳 瀧衛	海軍機関少佐	同行
S8	1933	11	13	開徳 ケイ		同行
S8	1933	11	18	I.A.Poryth		
S8	1933	11	19	飯田 久恒	海軍中将	後備役 第3戦隊司令官 馬公要港部司令官
S8	1933	12	23	下村 富士男	東京帝国大学文学部副手	日本外交史 高知高等学校教授 名古屋大学助教授 東京大学教授
S8	1933	11	19	C.O.Spamer		アメリカ領事
S8	1933	11	19	Frieda.L.Spamer		同行
S8	1933	12	1	安田 鎌造	山口県女子師範学校	教諭
S8	1933	12	18	山田 脩蔵	女子学習院図書館主任	書記
S8	1933	12	23	＝＝ 一久	東京帝国大学史学科学生	
S8	1933	12	23	横山 新二郎		同行
S8	1933	12	23	清＝ 三夫		同行
S8	1933	12	23	矢島 巢一		同行
S8	1933	12	23	花田 雄吉		同行 東京大学史料編纂所
S8	1933	12	29	岩渕 幸三郎	朝鮮総督府鉄道局局友会山岳部	
S8	1933	12	29	藤井 仁吉		同行
S8	1933	12	29	林 靖一		同行 京城の鉄道図書館初代館長 日本交通協会図書館館長 図書館経営、図書館学の研究 開架図書館の創始
S9	1934	1	21	村松 梢風		小説家 時代小説、伝記小説 作家村松友視の祖父 本名:村松義一
S9	1934	1	30	小田 為清	他四名	海軍少佐 駆逐艦旗風の艦長 長鯨艦長 香取艦長 のち海軍少将
S9	1934	1	31	村田 省蔵	大阪商船会社	社長 貴族院議員 逓信大臣兼鉄道大臣 駐フィリピン特命全権大使 日本国際貿易促進協会初代会長
S9	1934	2	6	守岡 多仲	三井物産会社	常務取締役
S9	1934	2	8	吉田 稔勝	逓信博物館	属
S9	1934	2	12	大濱 芳雄	熊本県保安課長	鳥取県経済部長 岐阜県学務部長 石川県官房長
S9	1934	2	12	島田 叡	長崎県警務課長	同行 大阪府内務部長 沖縄県知事 沖縄戦で殉職
S9	1934	2	20	帷子 二郎	奈良女子高等師範学校教授	地理学 奈良女子大学教授 学部長 天理大学教授
S9	1934	3	5	沼田 一雅	東京美術学校教授	陶芸家 デコラティブ陶磁彫刻研究所設立 日本陶彫会結成 本名:沼田勇次郎
S9	1934	3	8	井上 継松	海軍大学校長 海軍少将	のち海軍中将 鎮海要港部司令官
S9	1934	3	8	林 蓉斎	海軍大学校副官 海軍中佐	同行
S9	1934	3	8	祝原 不知名	那智艦長 海軍大佐	同行 佐世保鎮守府人事長 横須賀警戦司令官 のち海軍少将
S9	1934	3	8	沖本 至	海軍機関大佐	同行 海軍艦政本部造船造兵監督官 のち海軍少将
S9	1934	3	12	神根 愨生		宗教家 真宗崇徳教社理事長
S9	1934	3	22	藤本 一雄		教育者 菊川市で初の幼稚園創立
S9	1934	3	26	芝崎 陸奥夫	第八高等学校教授	物理学 名古屋大学教授 鈴鹿高等専門学校教授
S9	1934	3	26	柳 嶽生	第八高等学校生徒	同行
S9	1934	3	26	李 偉	〃	同行
S9	1934	3	26	呉 錦	〃	同行
S9	1934	3	26	徐 志新	〃	同行
S9	1934	3	26	前田 利建		旧加賀藩主前田本家第17代当主 侯爵 宮内省式部官兼主御官
S9	1934	3	28	内田 信保	明治神宮外苑管理署長 外売人	内務省官幣大社 福井県警察署長 高崎市長 明治神宮造営局参事
S9	1934	3	30	岡本 宣夫	京都府属	内務部
S9	1934	4	1	木代 修一	東京高等師範学校助教授	歴史学 日本文化史 桐朋女子中学・高校校長 東京教育大学・駒澤大学教授
S9	1934	4	1	宮原 重夫	鹿児島高等商業学校生徒	
S9	1934	4	1	渋谷 吉雄		同行
S9	1934	4	1	Sindo Seitaro		エスベラント協会大阪支部創設 進藤静太郎
S9	1934	4	1	西村 正雄		同行

S9	1934	4	1	Tomimatu Masao		同行 =富松正雄
S9	1934	4	1	Nakao Eki		同行
S9	1934	4	12	井上 雅二		朝鮮日日新聞社長 韓国統監府財政補佐官 南洋協会理事 衆議院議員 秘露綿花株式会社社長 日本女子大学学長井上秀子の夫
S9	1934	4	21	稲内 清二	広島県学務課長	学務部地方事務官 秋田県立青年学校教員養成所所長 市川市長
S9	1934	4	27	近藤 栄一	会計検査官	会計検査院第1部第3課長 日本交通公社監事
S9	1934	4	30	合田 亀太郎	東京高等師範学校教授	英語科 帝国女子専門学校教授 文部省大臣官房宗務課嘱託 相模女子大学教授 世界宗教会議役員
S9	1934	5	2	橋本 綱太郎	文部事務官	宗教局宗務課長
S9	1934	5	2	上館 全霊	曹洞宗准師家	同行
S9	1934	5	2	佐伯 定胤	帝国学士院会員 法隆寺貫首	法相宗管長 大僧正 金堂壁画焼失の責任をとって辞任 法相宗離脱後聖徳宗開山
S9	1934	5	2	村上 素道	同日随行	同行 曹洞宗聖護寺中興開山
S9	1934	5	6	呂 宜文	康德元年端節後一日	満州国外交部事務官 首相秘書官 通貨省省長 満州国駐ドイツ公使としてユダヤ人にビザを発行
S9	1934	5	6	陳 以益		同行「女子世界」編集長 女権確立・女子教育に尽力 メキシコの中華民国総領事 本名：陳志群
S9	1934	5	8	戸野 周二郎	前四日市市長	日比谷図書館建設に尽力 東京高等師範学校教授 清国湖北師範堂総教習 東京市教育課長 東京市助役
S9	1934	5	8	戸野 みちゑ	東京文華高等女学校長	同行 教育家 深川女学校、深川女子技芸学校長 湖北幼稚園園長 十文字学園創設者の1人 本名：戸野美智江
S9	1934	5	10	竹崎 嘉徳	京都大学教授	農学部 育種学 アサガオの遺伝、スイカの品種改良など 島根県立島根農業大学長
S9	1934	5	10	坂口 継輔	東京市関口臺町小学校長	柳町小学校長
S9	1934	5	10	山崎 菊次郎	東京市滝野川尋常高等小学校長	同行 教育啓蒙書著
S9	1934	5	10	横川 住市	東京市麴町高等小学校長	同行 立川尋常高等小学校長
S9	1934	5	10	橋本 熊太郎	東京市牛込高等小学校長	同行 菊川尋常小学校長
S9	1934	5	10	五味 義武	東京市深川小学校長	同行 深川明川高等小学校長 東京市視学官 国語教育の研究
S9	1934	5	12	西尾 忠方	貴族院議員、子爵	軍用保護馬鍛錬中央会副会長 伊予国大洲藩藩主加藤泰秋の実子、遠江国横須賀藩主西尾忠篤の養子
S9	1934	5	12	倉知 鉄吉	貴族院議員	同行 外務省政務局 外務次官
S9	1934	5	12	井上 圓蔵	福岡県八幡市	豊前上野焼研究
S9	1934	5	13	上沼 久之丞	東京市富士小学校長	全国連合小学校教員会会長
S9	1934	5	13	中澤 留	東京市愛宕高等小学校長	同行 全国連合小学校教員会会長「教育報告」編集
S9	1934	5	13	八幡 得吉	東京市京橋尋常小学校長	同行
S9	1934	5	16	斎藤 干城	第十二師団軍医部長	1等軍医正 のち陸軍軍医中将 第3, 5師団軍医長 関東軍軍医部長 第2代米子市長
S9	1934	5	16	宮城 篤珍	第十二師団軍医部員	同行 2等軍医正 のち陸軍軍医大佐
S9	1934	5	16	新田 小源太	全	同行 2等薬剤正
S9	1934	5	16	石井 脩三	大村衛戍病院長	同行 2等軍医正 のち陸軍軍医少将 関東軍第2陸軍病院長
S9	1934	5	18	古崎 辰夫	横須賀市逸見小学校	
S9	1934	5	18	海老原 敏夫	全	同行 山崎小学校長
S9	1934	5	21	小崎 常吉	横浜市戸部小学校	
S9	1934	5	21	齋間 志賢夫	横浜市戸部小学校職員	同行
S9	1934	5	22	仲村 保造	海軍中佐	海軍艦政本部監督官長崎出張造兵監督官 のち海軍大佐
S9	1934	5	22	八戸 義雄	海軍造機少佐	同行 海軍艦政本部監督官長崎出張造船監督官
S9	1934	5	22	松尾 輝義		同行 海軍艦政本部監督官長崎出張造船技師
S9	1934	5	22	根岸 秀夫		同行 海軍艦政本部監督官長崎出張造船技師
S9	1934	5	31	秋保 安治	文部省督学官	体育科兼東京科学博物館館長 東京府立職工学校長
S9	1934	5	31	池田 龍太	小倉工業学校長	同行 小倉工業学校校歌作詞

S9	1934	5	31	平松 秀三	鹿児島工業学校長	同行 厚生省技師 機械工之知識社顧問
S9	1934	5	31	山本 春水	加治木工業学校長	同行
S9	1934	5	31	長部 和松	八幡製鉄所教習所	同行
S9	1934	5	31	竹下 俊夫	熊本県立工業学校長	同行 鳥取県立工業学校長 小倉工業学校教諭
S9	1934	5	31	花田 帙祐	大分県立工業学校	同行
S9	1934	5	31	鹿島 透	宮崎工業学校長	同行 衆議院議員 国民協同党 宮崎県社会福祉事業団設立
S9	1934	5	31	直海 一良	宮崎女子高等技芸学校長	同行 村立福島高等女学校校長
S9	1934	5	31	宇都 眞吾	薩南工業学校長	同行
S9	1934	5	31	柏木 富忠	熊本市立商工学校	同行 教諭
S9	1934	5	31	田代 長吉	大分県鶴崎工業学校長	同行
S9	1934	5	31	山本 猶市	大分県立日田林工学校長	同行
S9	1934	5	31	平山 直見	鹿児島市立女子興業学校長	同行
S9	1934	5	31	川崎 寿男	大牟田市三井工業学校長	同行
S9	1934	6	1	七沢 甚喜	東京府豊島師範学校教諭	文部省社会教育官 東京農業教育専門学校長 筑波大学附属駒場高等学校初代校長 東京教育大学農学部長
S9	1934	6	1	芳尾 逸雄		同行 東京府女子師範学校教諭 東京保母専修学校を設立
S9	1934	6	2	吉田 二一郎	神戸市下山手 県立第一神戸高等女学校	教授 物理学 御影高等学校初代校長
S9	1934	6	2	井上 完爾	外生徒約五十名	同行 姫路市立姫路高等学校校長
S9	1934	6	6	桜井 錠二		化学者 物理化学 東京帝国大学名誉教授 理化学研究所設立副所長 日本学術振興会理事
S9	1934	6	6	松岡 均平		同行 貴族院議員 男爵 東京帝国大学経済学部教授 拓殖大学学監 日本学術振興会理事
S9	1934	6	6	山本 薫		同行
S9	1934	6	11	青山 大作	帝国図書館司書	名古屋市舞鶴図書館副館長
S9	1934	6	15	秋山 理敏	外務省官補見学団	通商局第3課事務官 電信課長 シドニー総領事 パナマ公使 駐中国日本大使館書記
S9	1934	6	15	高木 廣一		同行 在アメリカ大使館外務書記生 フィリピン2等書記官 中南米移住局長 アジア局賠償部長 駐ギリシア大使
S9	1934	6	15	根岸 国義		同行 外務省在イギリス大使館外務書記生 情報局第3部第2課長 駐エチオピア大使
S9	1934	6	15	都村 新次郎		同行 外務省在イギリス大使館外務書記生 上海領事 在ビルマ特命全権大使 在フィンランド、在ソ連邦公使 外務省人事課長 防衛庁教育局長事務取扱
S9	1934	6	15	関屋 貞三郎		貴族院議員 日本銀行監事 枢密顧問官 元朝鮮総督府学務局長、静岡県知事
S9	1934	7	2	牧 健二	京都帝国大学教授	法学部 法制史 京都学芸大学教授
S9	1934	7	21	川島 堰一郎	学習院教授	
S9	1934	7	23	R. = = =		
S9	1934	7	23	矢代 幸雄	東京美術学校教授	同行 美術史家 美術評論家 美術研究所所長 大和文華館初代館長
S9	1934	8	5	海塩 錦衛		県立佐原中学校初代校長 日出学園創立発起人
S9	1934	8	5	生明 梅三郎		同行
S9	1934	8	9	重久 篤太郎	京都帝国大学図書館囑託	近代洋学史 日本英学史学会名誉会長 京都市立芸術大学名誉教授 東北大学図書館司書官
S9	1934	8	11	Evertt F Briggs		カトリック宣教師 アメリカ炭鉱災害被害者支援
S9	1934	8	15	小出 武夫	東京南洋協会	
S9	1934	8	26	神谷 健一	海軍大尉	
S9	1934	8	31	J.Laures		=Johannes Laures 上智大学キリシタン文庫創始者 イエズス会士
S9	1934	9	23	勝田 二郎		
S9	1934	9	23	Minnie Taylor		米人 プロテスタント宣教師 東山学院教師
S9	1934	9	23	Jeane Noordhoff		米人 プロテスタント宣教師 長崎スタージ神学校 長崎アメリカ協会会長
S9	1934	9	28	阿部 留太	経済雑誌ダイヤモンド社	社長

